

平成22年度 一般会計予算

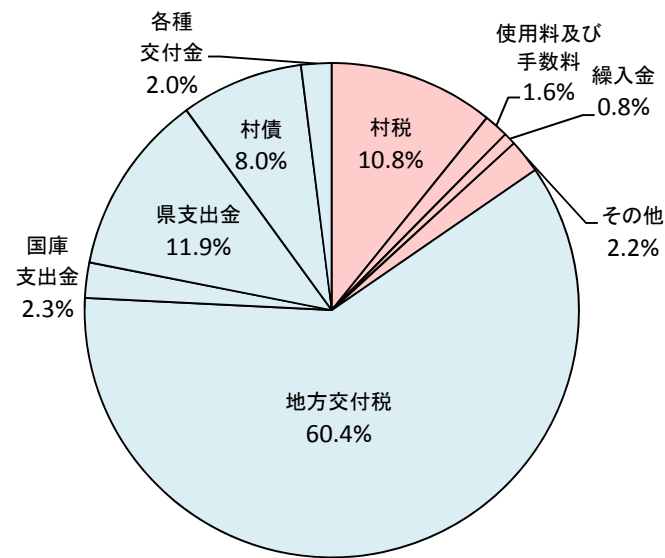
20億1,000万円 (前年度比2.3%増)

平成22年度の当初予算が3月議会定例会で議決されました。一般会計総額は20億1,000万円で、前年度比2.3%、4,600万円の増となりました。

住民1人あたり約75万円、1世帯あたり約160万円となる貴重な予算は、「自然をいかし 活気あふれる 村づくり」を目指し、住民福祉の向上と生活基盤の整備に活かされます。

歳入

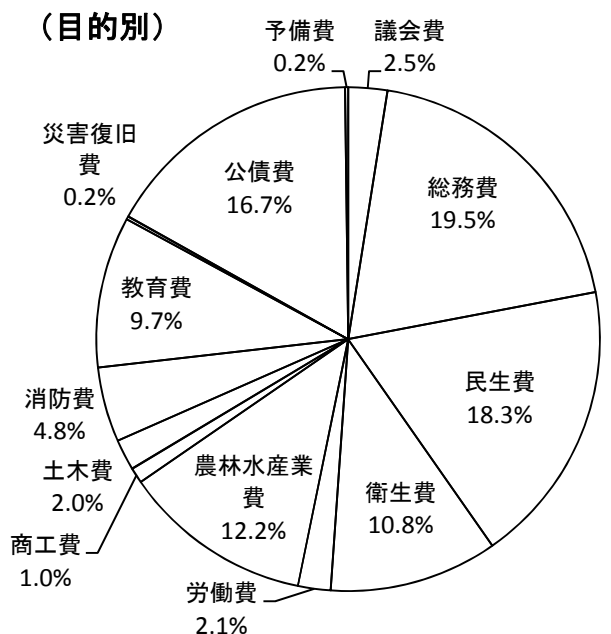
自主財源 15.4%
依存財源 84.6%



不況の影響で村税収入が落ち込み、自主財源が減少傾向にあることから、引き続き厳しい財政状況ですが、地方交付税等の増額が見込まれる為、後年度への負担を考慮し、借入金及び基金の取り崩しを最小限に抑制して編成しました。

区分	予算額(千円)	伸率(%)
村税	217,161	△ 1.7
使用料及び手数料	33,043	1.0
繰入金	15,320	△ 55.9
地方交付税	1,215,000	5.2
国庫支出金	46,987	△ 25.0
県支出金	238,977	47.2
村債	159,900	△ 14.8
各種交付金等	41,600	△ 31.0
その他	42,012	△ 11.5
計	2,010,000	2.3

歳出

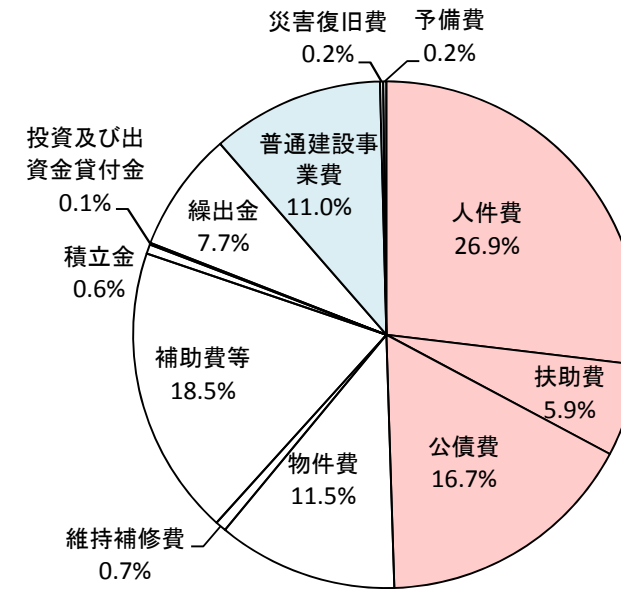


少子高齢化が進み人口が減少していく状況において、住民が求めるものは何か、住民の利便性をいかに向上させるかを考え、子育て支援等を中心に各種施策を盛り込み編成しました。

区分	予算額(千円)	伸率(%)
議会費	51,218	△ 10.8
総務費	391,815	△ 0.1
民生費	367,399	△ 4.6
衛生費	217,692	5.8
労働費	41,482	4035.8
農林水産業費	244,826	16.4
商工費	20,851	14.3
土木費	40,769	△ 56.3
消防費	96,664	0.6
教育費	194,054	28.6
災害復旧費	3,400	△ 5.6
公債費	334,830	△ 3.5
予備費	5,000	66.7
計	2,010,000	2.3

(性質別)

義務的経費 49.5%
投資的経費 11.2%



区分	予算額(千円)	伸率(%)
人件費	540,739	5.2
扶助費	118,299	2.1
公債費	334,830	△ 3.5
物件費	231,967	23.6
維持補修費	14,582	47.7
補助費等	371,712	3.7
積立金	11,390	△ 4.2
投資及び出資金貸付金	2,320	18.4
繰入金	155,879	△ 5.0
普通建設事業費	219,882	△ 10.8
災害復旧費	3,400	△ 5.6
予備費	5,000	66.7
計	2,010,000	2.3

主要施策

1. 生活環境基盤の整備充実
2. 福祉・健康増進施策の充実
3. 少子・高齢化対策、過疎対策事業の充実
4. 自然環境を活かした農林業等産業の振興
5. 商工業の振興対策・観光施策の充実
6. 義務教育・社会教育の充実、文化財の保護・整備

主な事業

- ・村長選挙及び参議院議員選挙の執行
- ・国勢調査の実施
- ・乗合タクシー、南牧バスの運行費補助
- ・テレビ放送アナログ波視聴対策
- ・障害者に対する各種支援
- ・高齢者福祉サービスの実施 (敬老会 他)
- ・児童福祉各種施策 (子ども手当 他)
- ・各種住民検診及び予防接種の実施
- ・下仁田厚生病院運営費負担
- ・甘楽西部環境衛生施設組合運営費負担
- ・緊急雇用創出事業 (村道・農林道景観整備 他)
- ・農業祭の開催
- ・中山間地域直接支払事業
- ・農業農村応援事業
- ・杉の木安定供給総合対策事業
- ・林道開設、改良 (湯ノ沢小仁田線 他)
- ・林業作業道整備補助
- ・商工業関係補助及び利子補給
- ・観光施設整備 (案内板・遊歩道)
- ・村道改良事業 (小沢日向線)
- ・富岡甘楽広域消防運営費負担
- ・消防団運営、装備充実
- ・小中学校校舎等施設整備
- ・グラウンドゴルフ場環境整備
- ・文化財調査

子育て支援の充実

子育てに対する保護者の経済的負担を軽減するための対策を実施します。

- ・保育料の無料化
- ・学校給食費の無料化

特別会計予算

会計名	予算額(千円)	伸率(%)
国民健康保険	409,300	2.9
簡易水道	46,800	0.9
自然休養村	3,500	57.7
老人保健	1,060	△ 32.1
生活排水	24,100	△ 31.3
介護保険	503,000	9.1
後期高齢者医療	52,800	0.6